

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：株式会社村田製作所 代表者職名・氏名：代表取締役社長 中島 規巨
補助事業テーマ	ウィルス性肺炎急性憎悪の早期検出のための呼吸音変化 AI 解析による在宅管理システム
事業実施期間	令和2年9月1日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	① コロナ患者の在宅管理向けモニタリングデバイス（AuroraScope）のプロトタイプ開発 ② 医療シミュレーターを用いたフィジビリティ調査
事業の実績（成果）	① 実施した取組/得られた結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捻髪音を含んだ呼吸異常音について、捻髪音の特性を画像音から画像解析し、捻髪音の発生域を特定し抽出する技術の開発 ・ 医療シミュレーターを用いた実験で捻髪音の発生区別を確認 ・ 呼吸音と体表面温度を測定可能なモニタリングデバイス及び在宅管理用モバイルアプリについて、事業検証用プロトタイプが完成 ・ 広報用資料としての動画 CG の作成 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: right;"> <p>AuroraScope 写真</p> </div> </div> ② 実施における課題と対応策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床仕様でのデータ取得、解析（現在はシミュレーターで評価） ・ デバイスの工業化設計、防水対応等
今後の展望	今回の試作検証を踏まえた医療機器としての認証と事業化を視野に入れている。社会実装となり、量産となれば京都の地場の電子機器製造企業への製造委託や、ものづくり企業との改良開発の継続など、京都の洗練された技術力を存分に世界に示すことで、京都のブランド力増強に資することになる。